

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

吉部地区自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	136,414 円		助成金充当額	92,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	通報訓練、消防訓練、防災講演会、 視察研修会 130人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・通報訓練(7/16 本部緊急連絡網による災害時の通報連絡訓練を実施した。) ・消防訓練(10/7 吉部小学校、宇部市消防団吉部分団、吉部駐在所、吉部地区自主防災会、吉部ふれあいセンターによる合同消防訓練を実施した。) ・防災講演会(10/23 土砂災害から安全に避難するための防災講演会を開催した。) ・合同視察研修会(11/13 吉部地区自治会連合会との合同視察研修会を下関市消防防災館「火消鯨」で行った。)			
事業目標	住民が自主的な防災活動を行う事により、災害(地震、土砂災害、風水害、その他)による被害の防止及び軽減を図る。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	防災通報連絡訓練、防災訓練、講演会・研修会参加率5%以上	・通報訓練年2回 ・訓練、講演会・研修会 参加率5%以上	・通報訓練年1回 ・訓練、講演会・研修会 参加率約5%	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 参加率については、コロナ感染症の影響により、参加の見合わせが影響しているものと思われる。一方で、地域団体や消防団の協力もあり、地域合同で行うなど、今後の目標達成につながるものと期待できる。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 連絡網の確認やLINEの利用など連絡体制の検討が行われた。合同訓練や合同視察研修により地区住民の連携や防災に対する意識高揚が図れた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 参加者が固定化してきているので、より多くの方が参加できるよう取組内容の検討が必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

吉部地区体育振興会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	202,000円		助成金充当額	202,000円
事業対象者	全校区民		参加人数	草刈、運動会 80人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・草刈り作業(8/6 競技大会会場周辺の草刈作業を夢ゆめクラブと合同で実施した。) ・競技用具等の点検及び用具の購入(運動会用具の点検及びグラウンド整備用具等を購入した。) ・地区運動会(10/2 吉部小学校と地区住民との合同運動会を実施した。)			
事業目標	広く体育活動を通じて地区住民の健康意識の高揚と体力の向上を図るとともに、相互の親睦を図り明るく住みよい郷土を築く。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	参加率 球技大会15%以上 運動会25%人以上	球技大会15%以上 運動会25%人以上	球技大会2% 運動会9%	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、球技大会は中止し、草刈り作業のみ実施した。地区運動会は規模を縮小して吉部小学校と合同で行った。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 規模を縮小したが、地域の健康増進や親睦と、体育の振興に効果があった。また、今後の競技会開催に当たって必要となるグラウンド整備用具等の購入ができた。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

吉部小学校運営協議会

事業名	3	小学校連携事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	10,000円		助成金充当額	10,000円
事業対象者	地区小学校児童・地区民		参加人数	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・地域クリーン作戦を年3回実施 ・吉部っ子祭りを地域住民の参加のもと実施 ・防災教室の開催 ・学校だよりを毎月地区に全戸配布 ・地区民と合同運動会の開催			
事業目標	地域人材を活用して学校を支援し、子どもたちの健全育成を図る。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	地域行事へのボランティア活動参加	120人	120人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍により、活動が縮小されたが、感染症対策等の工夫により事業を可能な限り実施した			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地域における学校に対する支援意識・態勢は高く、また支援のための良好な関係づくりが進んでいる。特に、永年実施してきた「地域清掃活動」が評価され、宇部市環境衛生連合会より最高賞を受賞したことは効果が得られたと思える。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コロナ感染予防・地域ボランティア高齢化			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

楠地区社会福祉協議会

事業名	4	敬老事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	988,696円		助成金充当額	899,080円 吉部地区分担金 186,200円
事業対象者	楠地区71歳以上の高齢者		参加人数	本年度なし
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 楠地区社会福祉協議会主催の3地区(船木、万倉、吉部)合同敬老会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり記念品等を自宅にお持ちし、近況などの話をした。			
事業目標	過疎高齢者地域への支援 ・独居老人が集える機会を作る			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	対象者数のうち20%の参加	対象者数のうち20%の参加	本年度なし	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため合同敬老会等の活動が制限された。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 高齢者を敬い元気づける事ができる事業である。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 福祉委員と協力し、来年度以降は積極的な出席を呼び掛けが必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	①	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

宇部市交通安全協会楠分会

事業名	5	交通安全事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	43,500円	助成金充当額	29,000円 吉部地区分担金 10,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	750人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施 ・安全指導、啓発活動、交通立哨等 ・のぼり旗、横断幕の設置			
事業目標	春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	日常的な安全運転への意識が向上すること	啓発活動・交通立哨	啓発活動・交通立哨	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 交通安全運動期間中等、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、のぼり旗等のこまめな掲揚や交通立哨を実施した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 交通指導、啓発活動、交通立哨等とおして、住民の交通安全・交通道德の意識の高揚が図れた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 交通安全、交通道德の意識高揚交通事故抑止のため継続的に実施すべき事業である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

夢ゆめクラブ吉部の郷

事業名	6	地区活性化事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	91,063円		助成金充当額	50,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・吉部小学校児童による「ふるさとの夢コンテスト」絵画展の実施 ・大棚トンネル桜並木の遊歩道、下市夢ガーデンの整備 ・文化展コーナー「1年のあゆみ」展示報告、及び「吉部の夢」を発行している。			
事業目標	人が集まる吉部の郷づくり			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	500人	500人	延約700人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 関連イベントなどの開催準備のため、大棚トンネル、桜並木遊歩道整備に力を入れた。下市の夢ガーデンにアーチ・案内看板設置により来場者が増えた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 本件事業の開催により、吉部地区外の人の流れを呼び込み、地域活性化が図れた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 会員の高齢化等により活動が厳しくなっており、新規会員の募集が急務である。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

吉部地区まちづくりサークル

事業名	7	地区活性化事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	66,003円		助成金充当額	60,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	68人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・健康づくり講座の開催(1回 11人) ・3世代交流事業(1回 8人) ・花壇の整備(6回 49人)			
事業目標	地域づくりに関する学習を通して、地域で主体的に行動する市民を育成し、心豊かな地域づくりを進める。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	講座の開催回数10回	開催回数10回	開催回数8回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍で高齢者の会員が多いことから野外活動が中心となった。しかし、1月には体育館で感染対策を徹底した3世代交流活動ができた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 会員の健康づくり意識が向上、会員各自・地区民との会話により心のケアも図られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・会員が固定化しており、新規加入者の募集を図りたい。 ・気軽にサークル活動に参加できる雰囲気づくりに努め、更に研修会等の実施も検討したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

宇部市環境衛生連合会
吉部支部

事業名	8	環境衛生事業			
事業期間	令和4年4月～令和5年3月				
決算額	52,522円		助成金充当額	40,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	210人	
事業内容	<p>(どのような事業を、どのように行ったか)</p> <ul style="list-style-type: none">・地区内清掃活動(空き缶等回収作業、旧軌道敷遊歩道の草刈り清掃作業)・不法投棄の抑制活動(啓発看板の設置)・ゴミの分別回収促進(看板設置)・ポイ捨て禁止啓発活動				
事業目標	数値目標		令和4年目標	令和4年実績	
	空き缶等回収作業2回 地域清掃活動3回		空き缶等回収作業2回 地域清掃活動3回	空き缶等回収作業2回 地域清掃活動3回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 数値目標は達成した				
事業効果	<p>(事業の実施により、どのような効果が得られたか)</p> 清掃活動に参加することで、住民の環境衛生意識の高揚が図られる。				
今後の課題等	<p>(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など)</p> 不法投棄が減少しておらず、啓発活動や看板設置などを継続して進めたい。 小学校との連携による環境学習にも取り組みたい。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 吉部地区生涯学習推進協議会

事業名	9	生涯学習推進事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	137,734円		助成金充当額	136,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	会議25人 文化展121人 計146人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・機関誌の発行 ・文化展の開催			
事業目標	地区民各自が、より豊かで生き甲斐もある生活を送る為、誰もが生涯にわたり自発的、主体的に取り組む学習社会を形成する。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	文化展の参加団体数10 個人5	団体数10 個人5	文化展開催 機関誌の発行	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 文化展は開催できたが、コロナ禍の影響で教室の開催回数が減少しており、出店数 個人数とも目標に達成しなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 生涯学習を通じ、誰もが生涯にわたり、自発的かつ主体的に取り組む学習社会が形成できる。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ガイドマップ掲載個所の維持、管理、清掃活動が必須となる。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 吉部地区ふれあい運動
推進委員会

事業名	10	みまもり活動事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	30,995円		助成金充当額	30,000円
事業対象者	地区の青少年		参加人数	延34人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・街頭補導活動 ・啓発活動			
事業目標	青少年の健全育成を基調とする「ふれあい運動」を推進する。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	交通立哨4回 街頭補導活動2回	交通立哨4回 街頭補導活動2回	交通立哨4回 街頭補導活動0回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 立哨は、年度計画通り実施できたが、街頭補導は、コロナ禍の影響で行事が中止になり実施できなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 青少年の健全育成が図られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 特になし			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 吉部地区コミュニティ
推進協議会

事業名	11	広報事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	50,073円		助成金充当額	49,100円
事業対象者	全地区民		参加人数	発行月 5月・7月・9月 11月・1月・3月
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・吉部全地区民に対する「かわら版」の作成及び配布(年6回 奇数月)			
事業目標	機関紙と定期的に発行し、地区での活動状況などをホットな情報を提供する。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	配布回数 年6回	配布回数 年6回	配布回数 年6回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 編集委員の積極的な協力もあり、全地区民は毎回の発行を楽しみにしている。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地域での活動状況や予定、行政からの連絡事項など生活に必要な情報提供ができています。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・タイムリーな情報提供と見やすい紙面の構築が必要である。 ・費用の捻出が可能であれば、カラー版発行の検討及び写真画像の質向上を図りたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

吉部地区子ども食堂
ふれあいの会

事業名	12	3世代交流事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	49,017円		助成金充当額	28,000円
事業対象者	吉部小学校及び全地区民		参加人数	125人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・第1回開催 7月20日、吉部ふれあいセンターホールにて、オープン行事は、児童全員に地元銘菓をプレゼント。第2部は、住民へ昼食の試食会・人権ビデオ視聴した。 ・第2回予定 8月2日 小学校とのコラボ事業を計画するも、コロナ蔓延のため中止となった。 ・第3回開催 11月12日 「吉部っ子祭り」で児童・父兄・教職員に紅白餅をプレゼントした。			
事業目標	・子供の居場所づくりを確保する。 ・食事の提供を通じて、食事の重要性・喜び・楽しさを理解する場を提供する。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	子ども食堂開催3回	3回	1回	
事業目標	(達成できた、又は、できなかった要因) ・初回は、実施できたが、コロナ感染状況・防止の為、第2回目以降は中止・縮小となった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・子ども食堂を通じ、地域と吉部小学校との絆が一層深まった。 ・地域住民から寄付・食材等の提供を受けられ、地域の協力関心が集まった。 ・地域住民ボランティアの他、地元大学からも協力が得られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・学校行事及びサマースクール等を通じ、学校とのコラボレーションを継続して行く。 ・将来は、3世代交流事業を目指したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③